



エドゥアルド・フェルナンデス

&

福田進一

ギター・デュオ
リサイタル

Eduardo FERNÁNDEZ
&
Shin-ichi FUKUDA
Guitar Duo Recital

世界を代表する二人のギタリストが夢の共演！
3年前、コロナ禍でやむなく中止となったコンサートがついに実現する。
密度の高いアンサンブルをご堪能あれ！

曲目

G.D.スカルラッティ (E.フェルナンデス 編) : 2つのソナタ K.213 / K.492

J.S.バッハ (福田進一 編) : コンチェルト ニ短調 BWV974 (原曲 A.マルチェロ : オーボエ協奏曲)

F.ソル : 幻想曲《2人の友》 op.41

T.アデス : ダークネス・ヴィジブル (E.フェルナンデス 編)

G.サントルソラ : ソナタ・ア・デュオ 第1番

吉松隆 : アトム・ハーツ・クラブ・デュオ op.70a

ほか

※都合により内容を変更する場合がございます。

© Takanori Ishii

主催：静岡音楽館AOI 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団

特別協賛： せいしん
静岡信用金庫

協賛： アイワグループ

studio
FORUM
HOUSE & SHOP DESIGN

 静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

2024

8/31 土

15:00 開演 (14:30 開場)

静岡音楽館 AOI ホール (8F)

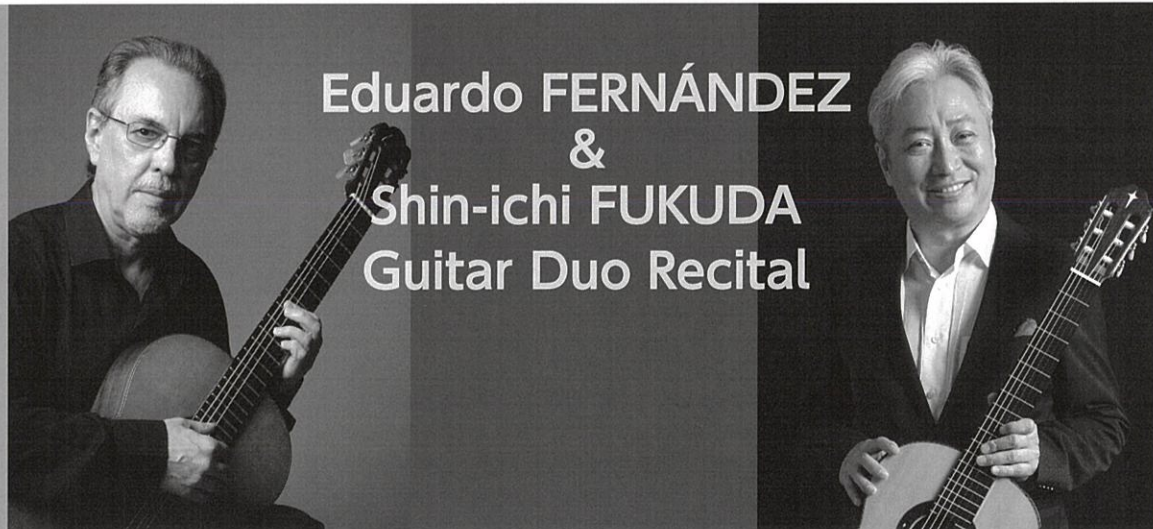
全指定 ¥4,000 (静岡音楽館倶楽部会員 ¥3,600)

22歳以下
¥1,000

1998年発売のCD「アトム・ハーツ・クラブ・デュオ」から25年(!)、お互いがそれぞれ自由に演奏しているかと思いつつ要所所でガッチリシンクロしているエドゥアルド・フェルナンデス&福田進一DUOが静岡音楽館AOIにやって来る。

ギターという楽器は室内楽、特に旋律楽器とのデュオとなると、和声楽器であるがゆえに伴奏役に徹することが多くなるのですが、ギター2台となると、楽しくて話したいことが尽きない2人の会話のように入れ替わり立ち替わり主旋律をバトンタッチする曲が多いところも面白みの一つと言えるでしょう。出会ってから4半世紀も経つと言う2人の会話は、きっと一夜では語り尽くせないほどの想いが込められた演奏となるに違いありません。スピーカーからではなく、実際に目の前で繰り広げられる「今」のこの2人の音楽の会話は、今回を逃すと、もう二度と来ないのです。そういう一瞬の貴重なチャンスを掴めるならば、ぜひ体験していただきたい、と思うコンサートです。

大萩康司(ギタリスト)



© Takanori Ishii

Eduardo FERNÁNDEZ & Shin-ichi FUKUDA Guitar Duo Recital

エドゥアルド・フェルナンデス(ギター)

Eduardo FERNÁNDEZ (Guit.)

1952年、ウルグアイ生まれ。7歳でギターを始める。主にギターをA.カルレバー口、作曲と理論をG.サントルソラ、H.トサールに師事。幾つかの国際コンクールで入賞。中でも特筆すべきは、72年のポルト・アレグレ国際ギターコンクール(ブラジル)、75年のパリ国際ギターコンクール(フランス)での入賞、そして75年のアンドレス・セゴビア国際ギターコンクール(スペイン)での第1位。77年、ニューヨーク・デビュー。ニューヨーク・タイムスに、「トップギタリストの登場!あらゆる楽器の中で最も印象的なデビューリサイタル」と絶賛される。以後、毎シーズンアメリカで有名オーケストラとの共演やソロ・リサイタルを開催。批評家、観客ともに絶賛される。83年、ウィグモア・ホールにてロンドン・デビュー。さらにはヨーロッパ諸国、日本、台湾、韓国、香港、中国、タイ、シンガポール、オーストラリア、南アフリカ、ラテンアメリカ諸国でも演奏し、世界最高峰のギタリストとして知られている。また、古楽器にも興味を持ち、しばしば19世紀のピリオド楽器を使用して演奏する。モンテヴィデオ音楽大学で数年間教鞭をとると同時に、研究者としても活躍。また、世界中のマスタークラスや講座に招かれている。2002年からは、毎年、ドイツのエアルバッハで行われる国際ギター・フェスティバル「ギターと自然」でマスタークラスを開催している。ディスコグラフィは、デッカ、エラートなどのレーベルから多数リリースされ、DENONからは福田進一と3枚のデュオ作品を制作。最近では、オヘムス・クラシック・レーベルの専属レコーディング・アーティストとして、バッハのリュート組曲全曲、19世紀のピリオド楽器を使用した「ロマンティック・ギター」、ラテンアメリカ作品集、オール・ジュリアーニのCDがリリースされた。

福田進一(ギター)

Shin-ichi FUKUDA (Guit.)

1955年、大阪生まれ。1981年、パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝。以後、約40年に亘り、ソロ・リサイタル、主要オーケストラとの協演、超一流ソリストとの共演を続け、ボーダーレスな音楽への姿勢は世界中のファンを魅了している。2017年からウィーン・フィルハーモニー管弦楽団元コンサートマスター、R.キューヒル氏との演奏活動を開始。大阪音楽大学、広島エリザベト音楽大学、上海音楽院(中国)、アリカンテ大学(スペイン)各音大のギター科客員教授。東京、アレクサンドリア、ハインズベルグ、コブレンツ、全米ギター協会など、主要国際ギターコンクールの審査員を歴任。2021年に開催された「メルカリコンサート ギターオーディション」では審査員長を務める。2019年11月公開の映画「マチネの終わりに」(監督:西谷弘、主演:福山雅治、原作:平野啓一郎)では、クラシックギター監修を担当した。ディスコグラフィは既に100タイトルを超える。2020年はフルートの工藤重典氏とのアルバム「音の旅~夜明けのセレナーデ」(マイスターミュージック)、荘村清志、福田進一、鈴木大介、大萩康司のギタリスト4名によるデュオ曲集「DUO2」(日本コロムビア)をリリース。2021年7月発売の「バロック・クロニクルズII~異邦人」(マイスターミュージック)は好評を博した。2022年5月には生誕100年・没後30年を迎えるピアソラの作品集「ピアソラ・トリビュート」(マイスターミュージック)を発表。2023年4月に「ボンセ:スペインのフォリアによる20の変奏とフーガ~情熱と印象~」(マイスターミュージック)がリリースされた。また、インターネットラジオOTTAVAで、2020年9月から2021年5月にわたって放送されたクラシック専門番組「6弦上のアリア」でパーソナリティを務めた。ネットでは「福田進一 ザ・ギターレッスン」を開講。OTTAVA-TV、ぶらあばcafeで配信、好評を得ている。平成19年度外務大臣表彰受賞。平成23年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

公式ホームページ <https://shin-ichi-fukuda.themedia.jp>

静岡音楽館AOI公式SNS



静岡音楽館AOI・インフォメーション(7F)

Tel.054-251-2200(月休)

- * 受付時間9:00~21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- * お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- * 各種クレジットカード、バーコード決済、電子マネー(一部除外あり)でお支払いいただけます。

チケットぴあ(Pコード: 250-788) <https://t.pia.jp>

- * 全国のセブン-イレブン店頭マルチコピー機
- * チケットぴあでは、一般券のみお取り扱いします。

一般発売 3月9日[土]より

会員先行発売 3月2日[土]より

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- ※価格は税込です。
- ※都合により内容を変更する場合があります。
- ※お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更はお受けできません。
- ※演奏中のご入場、および他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- ※未就学児はご入場いただけません。
- ※託児サービスはございません。

開場時の諸注意

- ※8階ホールへのエレベーターの運行は、開場時間以降となります。
- ※開場時は1階エレベーター前でお待ちの方を優先してご案内いたします。
- ※地下からご来場のお客様も、一旦1階にて列にお並びください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局合同建物内



*当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!



開館 9:00~21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

TEL. 054-251-2200

静岡音楽館AOI

検索

